



Защити созданное

Dr.Web 導入に関してのご紹介



1. Dr.Web 集中管理サーバ『Control Center』システム要件
2. Dr.Web インストール方法のご紹介
3. Dr.Web サポートへの問合せ



Защити созданное

Dr.Web 集中管理サーバ 『Control Center』 システム要件

- パターンファイル（ウイルス定義ファイル）の配布
- ウイルス感染、スキャン結果についての通知発信
- 設定の一元管理
- ウィルス状況レポート
 - ・ 検出ウイルス情報
 - ・ スキャンのエラー情報
 - ・ アンチウィルスコンポーネントの適用状況 など

Dr.Web Control Center 導入イメージ

Internet



Dr.Web サーバ
(インターネット)

モバイルモード有効の場合、ユーザのネットワーク外で、直接Dr.Web社のサーバへ定義ファイル取得が可能です。



『Dr.Web Mobile Security Suite』
(AnDroid端末向け)



『Dr.Web Desktop Security Suite』
(外出時持出用PC)

導入可能OS

- Windows 10/8.1/8/7
- Windows Server 2019/2016/2012/2008
- Linux (LSBv3以上、glibc2.13以上)



Dr.Web 集中管理サーバ
『Control Center』



『Dr.Web Desktop Security Suite』
(クライアントPC向け)



『Dr.Web Server Security Suite』
(サーバ向け)



『Dr.Web Mail Security Suite』
(メールサーバ向け)



『Dr.Web Gateway Security Suite』
(ゲートウェイ向け)

管理対象 OS・プラットフォーム

- Windows Vista/7/8/8.1/10
- Mac OS X
- Linux

- Windows 2008/2012/2016/2019
- Mac OS X Server
- Unix (Samba)

• Unix

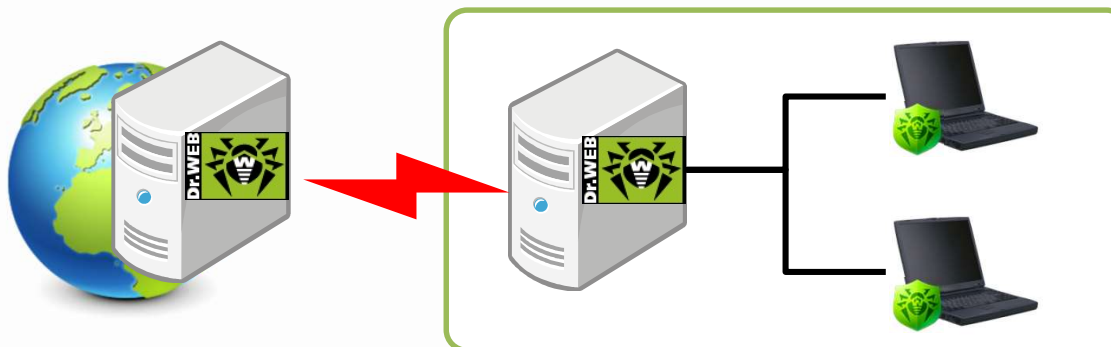
• Unix

ユーザ様 ネットワーク環境



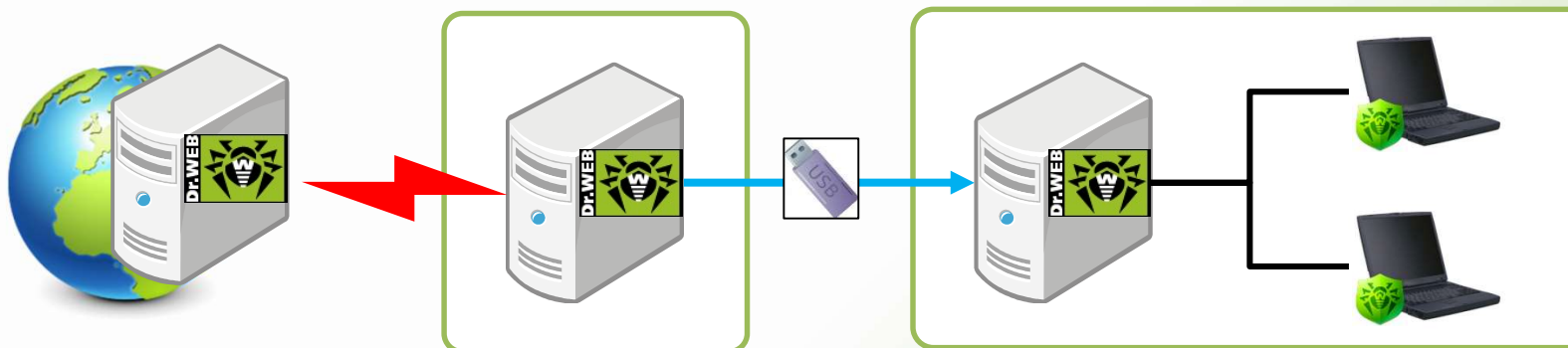
Dr.Web Control Center 構成例

基本構成



Control Centerがインターネットにアクセスできる環境で、常にパターンファイル等の更新を行う。

インターネットに接続していなくても利用できます。



Control Centerがインターネットにアクセスできない環境の場合でも、パターンファイルの更新が可能です。

Dr.Web Control Center システム要件

Control Centerが動作するための要件になります。

- CPU : SSE2をサポートする1,3 GHz以上のCPU

RAM : 1GB 以上 (2 GB以上を推奨)

HDD : 12GB 以上 (組み込みデータベースの場合、8GBまで (インストールフォルダ)

、
システムの一時ディレクトリの場合4GBまで (作業ファイル用))

OS : Windows 2016/2012/2008/10/8.1/Vista

Linux (glibc2.13 以降)

- クライアントをサーバからコントロールする場合に使用する通信ポート

- ・ クライアントとサーバ間で情報のやり取りに使用するポートが、2193 になります。
※ステータス情報やデータベースの更新、サーバでの設定変更、ウィルスの検知ログなど
- ・ プッシュインストールに使用するポートが、139及び445になります。
- ・ Control Centerが動作するためにHTTPプロトコル対応ポート 9080
- ・ Control Centerが動作するためにHTTPSプロトコル対応ポート9081

左記スペックで約
200台から300台ほど
の管理が可能です。



Защити созданное

Dr.Webのインストール方法の ご紹介

- Control Center (Dr.Webサーバ) のインストール
 - ・ 簡易構築ガイドを元に初期設定
 - ・ ポリシー設定 (スケジュールスキャン、除外設定等)
- 既存アンチウイルスのアンインストール
 - ※ メーカーによっては、エージェントインストール時にアンインストールも可能
- Dr.Webエージェントのインストール
 - ※ Control Centerに接続できればインストール可能 (インターネット接続は不要)
- 接続確認

プッシュインストール

Dr.Webで提供されている
集中管理サーバからプッシュ
インストールを行う方法です。
※条件あり

Active Directory MSI

ADのドメインに参加している
端末であればMSIが可能

バッチファイルを作成し、 インストーラと展開 (配布ミドルウェアを使って)

IPアドレスの検出が出来ない
端末は、バッチファイルと一緒に
インストーラを配布頂く方法が
あります。

■ 簡易構築ガイド

- ・ 各種設定に関しては下記URLにて、簡易構築ガイドのダウンロード可能

<http://dwp.support/guide/guides.html>

※上記URLより、Dr.Web Enterprise Security Suite簡易構築ガイドをご参照ください。



Защити созданное

Dr.Web サポートへの問合せ

弊社への問い合わせは、原則として、以下のサポートページからお願いいたします。

<https://support.drweb.co.jp/>

テクニカルサポート

ライセンスを指定する必要があります。

- Dr.Webプログラムの動作
- ウイルスの検出/削除

画面中央右側にある左記を選択し、お問い合わせください。

お問合せをいただく際には、以下の情報をご用意ください。

- ・ シリアル番号
- ・ 登録メールアドレス
- ・ 使用されている製品とバージョン
- ・ OS
- ・ 発生している事象や確認したい内容等
- ・ ログおよびスクリーンショット等



製品サポート期間

弊社各製品のサポート期間は以下に記載されています。

<https://support.drweb.co.jp/lifecycle/>

ご利用の製品をご確認の上、サポート期間中に**バージョンアップ**を行って頂きますようお願い致します。

